

挑む!

女装メイク師

いまり
井上 今里さん(28)

男性も美しい花になれる



「その方の、美しい部分を探すんです。どんな方にも、必ずあります」

凛とした姿勢で力を込める。それはおそらくメイクの基本。少し変わっているのは、対象が男性、ということ。

大阪・なんばで、女装体験をしたい男性のための変身メイク店「女装紳士」を開く。衣装とウィッグを選び、1時間かけてナチュラルなメイクを施す。「最初は、みなさん不安そう。でも、終わって沈んだ表情の方を見たことはありません。メイクを落として

大阪府忠岡町出身。メイクを始めたのは小学生のころ。男性の顔の一部だけをメイクしたアート作品「半顔女装」にも取り組む。

も、お肌がつやつやしている」

美術の専門高校からメイク専門学校へ。現代画家として活動したが、勤務先の倒産などでいばらの道。アートから遠ざかり、笑うことを忘れた。

そんなある日、「メイクして」と男友達に頼まれた。周りを驚かせたいという遊び心に盛り上がり、心の底から笑えた。やりたいことが、見つかった。

モデルを募り、本を読み、女装イベントに行き、男性へのメイクを追求。試行錯誤の末、3年前、「人生で初めての女装」をテーマに店を開いた。

遠くから時間と交通費をかけて来る人、「死ぬ前にしておきたいことを考えたら、女装だった」と話す人。

してみたい。でもどうやって？ してみたい。でも誰にも相談できない。そんな気持ちに、今日もそっと寄り添う。

文・写真 松尾由紀

記者から

偏見にさらされることもある仕事。支えるのは反骨精神、だそう。強さに憧れます。